

区民委員会情報連絡

令和4年6月27日

情報連絡事項	頁
1 足立区男女共同参画に関する区民意識調査の結果について・・・・・・・・・・	2
2 足立区展2022について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	12
3 芸術鑑賞体験事業の実施について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	13
4 協働グループ展「足立の学童疎開展」の開催について・・・・・・・・・・	14
5 「スペシャルライフコートフェスティバル」の実施結果について・・・・・・・・	15
6 「調べ学習用図書」の配送実績について・・・・・・・・・・・・・・・・・・	16
7 「あだち読書通帳」の配布実績について・・・・・・・・・・・・・・・・・・	17

【参考】《子ども・子育て支援対策調査特別委員会報告事項》

※ 資料は、子ども・子育て支援対策調査特別委員会（地域のちから推進部）の報告資料
にあり

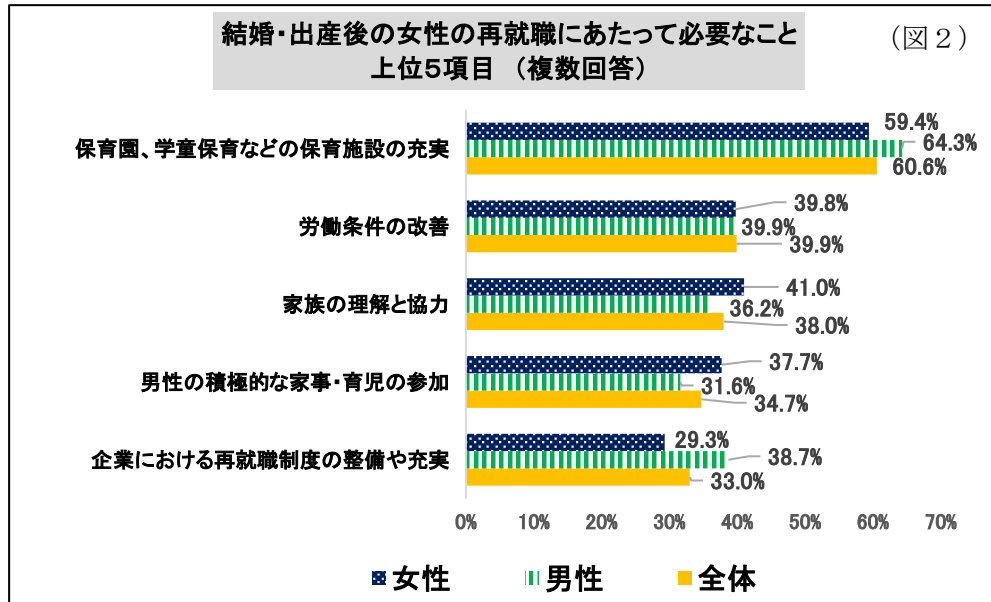
- 1 令和4年度学童保育室の入室申請及び待機児童の状況について
- 2 令和5年度学童保育室事業者選定の概要について

(地域のちから推進部)

<p>件 名</p>	<p>足立区男女共同参画に関する区民意識調査の結果について</p>																
<p>所 管 部 課 名</p>	<p>地域のちから推進部多様性社会推進課</p>																
<p>内 容</p>	<p>「男女共同参画に関する区民意識調査」について、集計結果がまとまったので報告する（詳細は別添資料のとおり）。</p> <p>1 調査概要</p> <p>(1) 目的 区民の意識や実態を把握し、令和4年度の次期（第8次）計画策定の基礎資料とするため調査を実施した。</p> <p>(2) 調査時期 令和3年10月20日（水）～11月19日（金）</p> <p>(3) 調査方法 ・ 区内在住の満18歳～79歳までの区民3,000人を無作為抽出（男女・年齢別） ・ 調査票を対象者へ送付後、郵送またはWEBで回答</p> <p>(4) 回収状況（令和3年11月30日時点） ・ 回収数 1,136件（郵送666件、WEB470件） ・ 回収率 37.9%</p> <p>2 主な調査結果</p> <p>(1) あらゆる分野における女性活躍の推進</p> <p>ア 女性の好ましい働き方</p> <p>女性が仕事を持つことについて、5割弱（87%）の人が肯定している（図1）。特に「結婚し子どもを持つが、仕事もできる限り続ける」という就労継続型が5割強と最も多い。</p> <div data-bbox="421 1736 1414 2145" data-label="Figure"> <p style="text-align: center;">女性の理想(好ましい)の働き方 (図1)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>働き方</th> <th>割合 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>結婚せず、仕事を続ける</td> <td>1.7</td> </tr> <tr> <td>結婚するが子どもは持たず、仕事を続ける</td> <td>1.1</td> </tr> <tr> <td>結婚し子どもを持つが、仕事も続ける</td> <td>52.5</td> </tr> <tr> <td>結婚・出産後退職し、再び仕事をもつ</td> <td>34.5</td> </tr> <tr> <td>結婚・出産後、その後は仕事を持たない</td> <td>3.8</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>5.4</td> </tr> <tr> <td>無回答</td> <td>1.1</td> </tr> </tbody> </table> </div>	働き方	割合 (%)	結婚せず、仕事を続ける	1.7	結婚するが子どもは持たず、仕事を続ける	1.1	結婚し子どもを持つが、仕事も続ける	52.5	結婚・出産後退職し、再び仕事をもつ	34.5	結婚・出産後、その後は仕事を持たない	3.8	その他	5.4	無回答	1.1
働き方	割合 (%)																
結婚せず、仕事を続ける	1.7																
結婚するが子どもは持たず、仕事を続ける	1.1																
結婚し子どもを持つが、仕事も続ける	52.5																
結婚・出産後退職し、再び仕事をもつ	34.5																
結婚・出産後、その後は仕事を持たない	3.8																
その他	5.4																
無回答	1.1																

イ 結婚・出産後の再就職に必要なこと

結婚・出産を機に退職した女性の再就職については「保育園・学童保育等の保育施設の充実が必要である」という回答が最も多く（図2）、仕事と出産・育児等を両立できる環境づくりが求められている。



(2) ワーク・ライフ・バランスの推進

ア 配偶者（またはパートナー）への不満点

女性はパートナーに対し、各年代で「言わないと家事・育児をしてくれない」事を不満に思う割合が高い（図3）。

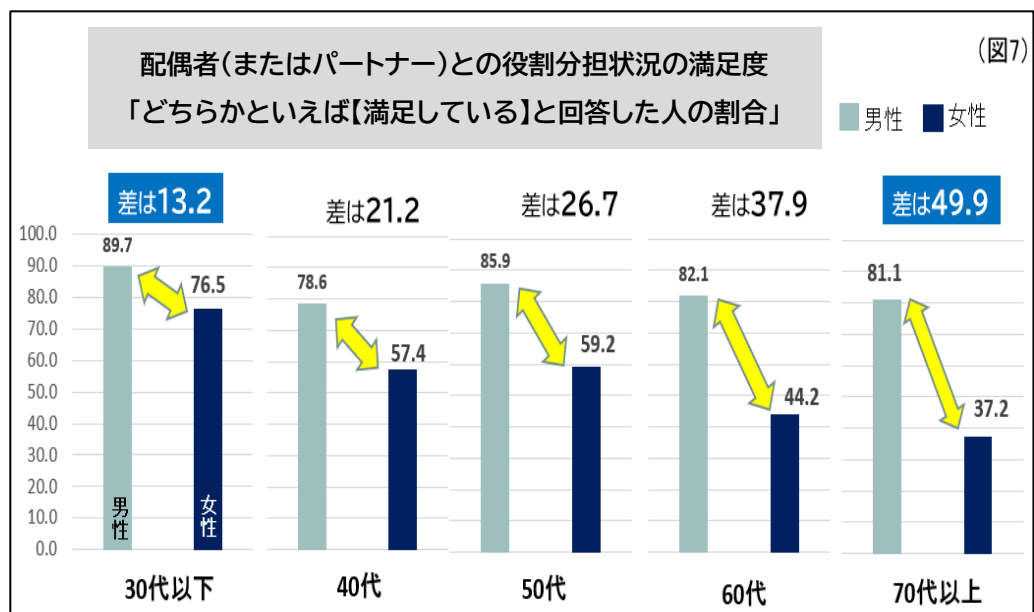
配偶者(またはパートナー)への不満点 上位5項目（複数回答） (図3)

男性 30代以下 上位5項目	女性 30代以下 上位5項目
思いどおりでないときすぐ怒る 20.7	言わないと、家事・育児をしてくれない 30.6
ずっとスマホを見ている 17.2	ずっとスマホを見ている 22.2
家事・育児が雑である 10.3	家事・育児が雑である 20.8
言わないと、家事・育児をしてくれない 6.9	相手がやってくれるのが当たり前だと思っている 16.7
日頃、感謝してくれない 0.0	日頃、感謝してくれない 4.2

男性 40～50代 上位5項目		女性 40～50代 上位5項目	
思いどおりでないでとすぐ怒る	14.2	相手がやってくれるのが当たり前だと思っている	27.6
日頃、感謝してくれない	8.2	言わないと、家事・育児をしてくれない	21.6
家事・育児が雑である	7.5	ずっとスマホを見ている	14.1
相手がやってくれるのが当たり前だと思っている	6.7	家事・育児が雑である	12.1
ずっとスマホを見ている	6.0	日頃、感謝してくれない	12.1
男性 60代以上 上位5項目		女性 60代以上 上位5項目	
思いどおりでないでとすぐ怒る	11.8	相手がやってくれるのが当たり前だと思っている	35.0
相手がやってくれるのが当たり前だと思っている	7.4	言わないと、家事・育児をしてくれない	27.0
日頃、感謝してくれない	5.9	日頃、感謝してくれない	16.8
家事・育児が雑である	5.1	思いどおりでないでとすぐ怒る	13.1
言わないと、家事・育児をしてくれない	2.9	家事・育児が雑である	7.3

イ 配偶者との役割分担状況の満足度

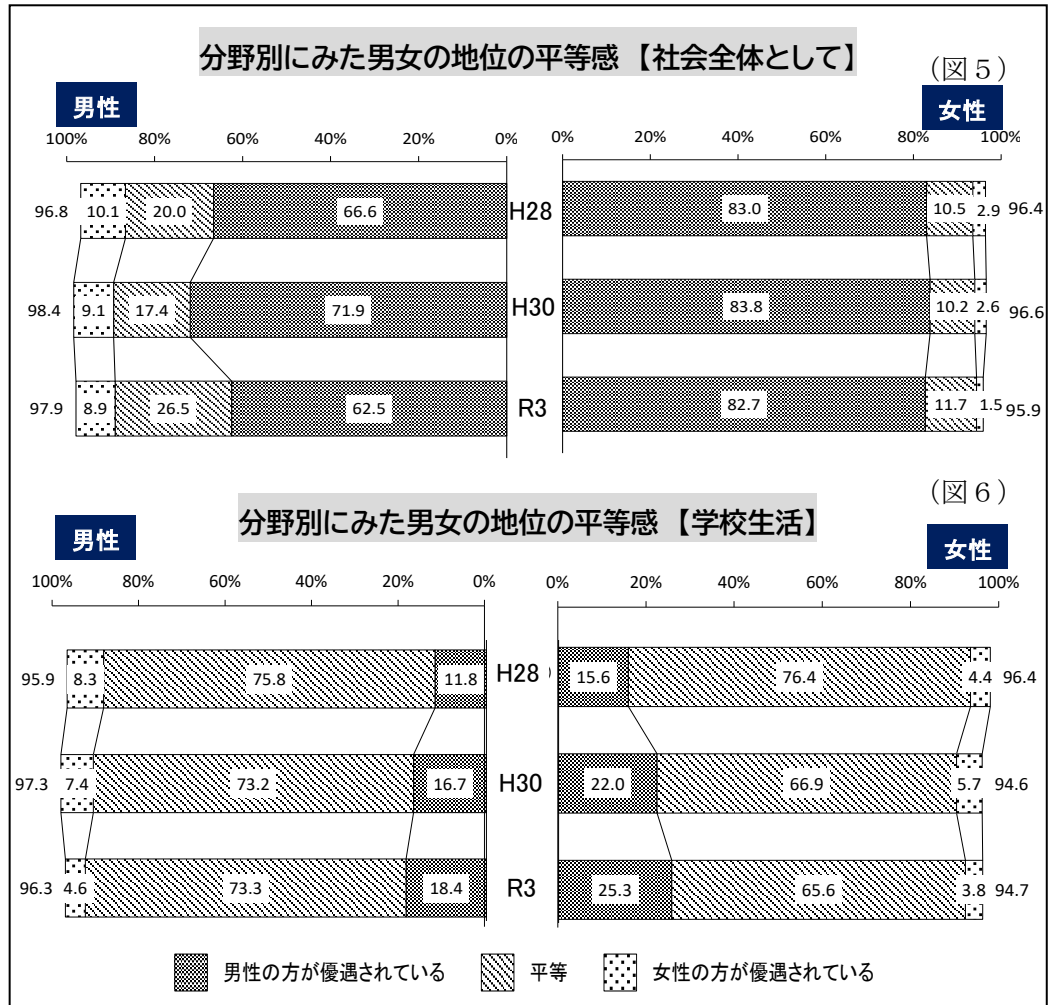
パートナーとの役割分担状況の満足度を年代別・性別で見ると年齢が上がるにつれ、男女間の意識差が大きくなっていく傾向がある(図4)。役割分担に満足している男性と、それを不満に思っている女性との意識の差が見られる。



(3) 社会における男女共同参画の推進

ア 分野別に見た男女の地位の平等感

男性が優遇されているという回答が多く、「社会全体」では、約7割が男性優遇だと感じている(図5)一方、「学校教育」では平等と感じる人が6割台半ばを超えている(図6)。



イ 女性活躍推進のために特に区に期待すること

「子育て環境を整備する」に次いで、「女性の再就職支援を行う」が男女ともに4割を超えており(図7)、一度離職しても再び仕事をもつことができるような支援が求められている。

女性活躍推進のために特に区に期待すること(複数回答) (図7)

男性 上位5項目	(%)	女性 上位5項目	(%)
子育て環境(保育所等)を整備する	70.3	子育て環境(保育所等)を整備する	55.8
女性の再就職の支援を行う	40.6	女性の再就職の支援を行う	47.9
介護施設を整備する	37.6	介護施設を整備する	42.6
区が率先して女性の活躍に取り組む	26.7	区が率先して女性の活躍に取り組む	21.2
子育て支援サービスや相談窓口を充実させる	24.4	ワーク・ライフ・バランスを啓発する	20.3

ウ 防災対策や避難所運営で重要なこと

性別、年代別でみると「プライバシーに配慮した避難所設備（トイレや更衣室、休憩スペース等）を設置する」がすべての性別、年代で6割以上（図8）である。特に30代以下の女性では84.0%と最も多い。

今後の防災対策や避難所の運営には、プライバシーの確保などの配慮も求められており、対策が必要である。

性別にとられない防災対策や避難所の運営で
特に重要だと思うこと（複数回答）

（図8）

男性 30代以下 上位5項目		女性 30代以下 上位5項目	
プライバシーに配慮した、避難所設備（トイレや更衣室、休憩スペース等）を設置する	67.1	プライバシーに配慮した、避難所設備（トイレや更衣室、休憩スペース等）を設置する	84.0
女性や子供に対する暴力を防ぐ対応策を講じる	36.6	女性や子供に対する暴力を防ぐ対応策を講じる	37.9
ホテルなどの民間設備の活用	32.9	避難所の管理責任者を、男女両方配置する	37.3
災害対応において、男女両方のリーダーを育成する	32.9	ホテルなどの民間設備の活用	27.2
避難所の管理責任者を、男女両方配置する	29.3	災害対応において、男女両方のリーダーを育成する	21.3
男性 40～50代 上位5項目		女性 40～50代 上位5項目	
プライバシーに配慮した、避難所設備（トイレや更衣室、休憩スペース等）を設置する	69.6	プライバシーに配慮した、避難所設備（トイレや更衣室、休憩スペース等）を設置する	70.6
ホテルなどの民間設備の活用	34.8	避難所の管理責任者を、男女両方配置する	41.3
女性や子供に対する暴力を防ぐ対応策を講じる	32.1	ホテルなどの民間設備の活用	36.4
避難所の管理責任者を、男女両方配置する	28.3	災害対応において、男女両方のリーダーを育成する	26.8
災害対応マニュアルなどに男女共同参画の視点を入れる	28.3	災害対応マニュアルなどに男女共同参画の視点を入れる	23.8
男性 60代以上 上位5項目		女性 60代以上 上位5項目	
プライバシーに配慮した、避難所設備（トイレや更衣室、休憩スペース等）を設置する	64.3	プライバシーに配慮した、避難所設備（トイレや更衣室、休憩スペース等）を設置する	68.4
災害対応において、男女両方のリーダーを育成する	41.1	ホテルなどの民間設備の活用	37.8
避難所の管理責任者を、男女両方配置する	40.5	避難所の管理責任者を、男女両方配置する	36.8
災害対応マニュアルなどに男女共同参画の視点を入れる	35.7	避難所での悩みに対応する相談窓口やプライバシーに配慮した相談窓口の設置	32.1
ホテルなどの民間設備の活用	29.2	災害対応マニュアルなどに男女共同参画の視点を入れる	28.0

エ 男女共同参画推進のために学校教育の場で力を入れるべきこと
「男女の別なく個性や能力を活かせる指導の充実」が男女ともに第1位となっており（図9）、学齢期からの意識啓発が必要である。

男女共同参画推進のために学校教育の場で力を入れるべきこと(複数回答) (図9)

男性 上位5項目		女性 上位5項目	(%)
男女の別なく、個性や能力を活かせる指導の充実	47.7	男女の別なく、個性や能力を活かせる指導の充実	55.5
人間としての尊厳、平等を尊重することに力点を置いた指導	44.0	人間としての尊厳、平等を尊重することに力点を置いた指導	40.1
男女平等に関する副教材を活用した指導	31.1	男女平等に関する副教材を活用した指導	31.1
日常の学校生活の中での男女平等の実践	28.6	日常の学校生活の中での男女平等の実践	27.1
セクシュアル・ハラスメントやドメスティック・バイオレンスについての学習	22.4	自分および異性の性を尊重する意味での性教育の充実	23.6

(4) DV・ハラスメントの防止対策

ア DV・ハラスメントを受けた経験

DV・ハラスメント行為を受けた経験については、男女ともにどの年代でも人格否定等の精神的攻撃が多かった（図10）。

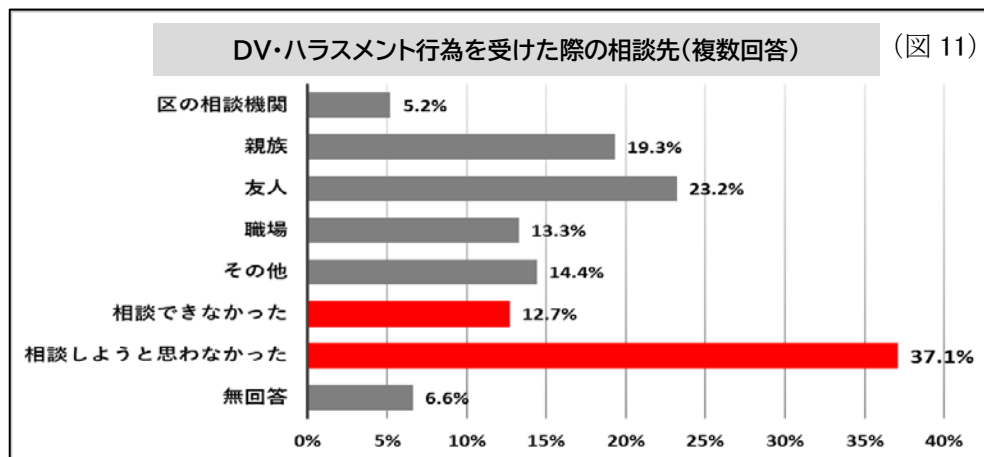
DV・ハラスメント行為の被害経験(複数回答) (図10)

男性 30代以下 上位5項目		女性 30代以下 上位5項目	(%)
人格否定や人前で過度に叱責するなど精神的攻撃を受けた	14.6	人格否定や人前で過度に叱責するなど精神的攻撃を受けた	23.1
過大な要求をされた(時間内に不可能な仕事を押し付ける等)	14.6	自分が悪くないのに謝罪を要求された	14.8
自分が悪くないのに謝罪を要求された	14.6	無視された	13.6
名誉を傷つける行為を受けた	12.2	暴言を吐かれ、見下された	12.4
暴言を吐かれ、見下された	12.2	過大な要求をされた(時間内に不可能な仕事を押し付ける等)	10.7
男性 40~50代 上位5項目		女性 40~50代 上位5項目	
人格否定や人前で過度に叱責するなど精神的攻撃を受けた	28.3	暴言を吐かれ、見下された	20.4
暴言を吐かれ、見下された	19.0	人格否定や人前で過度に叱責するなど精神的攻撃を受けた	20.1
過大な要求をされた(時間内に不可能な仕事を押し付ける等)	14.7	無視された	16.4
名誉を傷つける行為を受けた	12.5	「女(男)のくせに」「女(男)なんだから」と差別的な表現をされた/もしくは行動を強要された	13.8
無視された	12.5	名誉を傷つける行為を受けた	11.5

男性 60代以上 上位5項目	女性 60代以上 上位5項目		
人格否定や人前で過度に叱責するなど精神的攻撃を受けた	11.3	人格否定や人前で過度に叱責するなど精神的攻撃を受けた	16.1
暴言を吐かれ、見下された	9.5	暴言を吐かれ、見下された	13.5
過大な要求をされた（時間内に不可能な仕事を押し付ける等）	5.4	無視された	10.4
名誉を傷つける行為を受けた	5.4	「女（男）のくせに」「女（男）なんだから」と差別的な表現をされた/ もしくは行動を強要された	9.3
無視された	4.2	過大な要求をされた（時間内に不可能な仕事を押し付ける等）	8.3

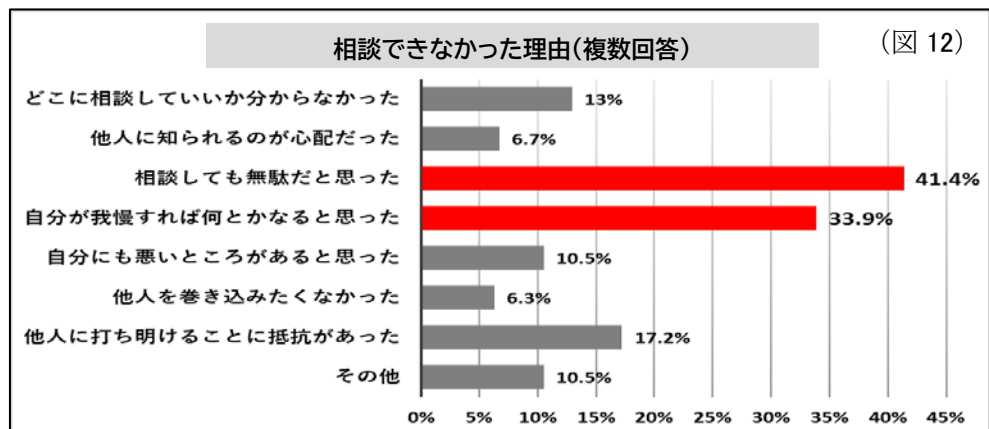
イ DV・ハラスメント行為を受けた際の相談について

身近の友人や親族、職場が多くなっている一方、被害経験者のうち「相談できなかった」「相談しようと思わなかった」人の割合は、約5割（49.8%）を占めている（図11）。



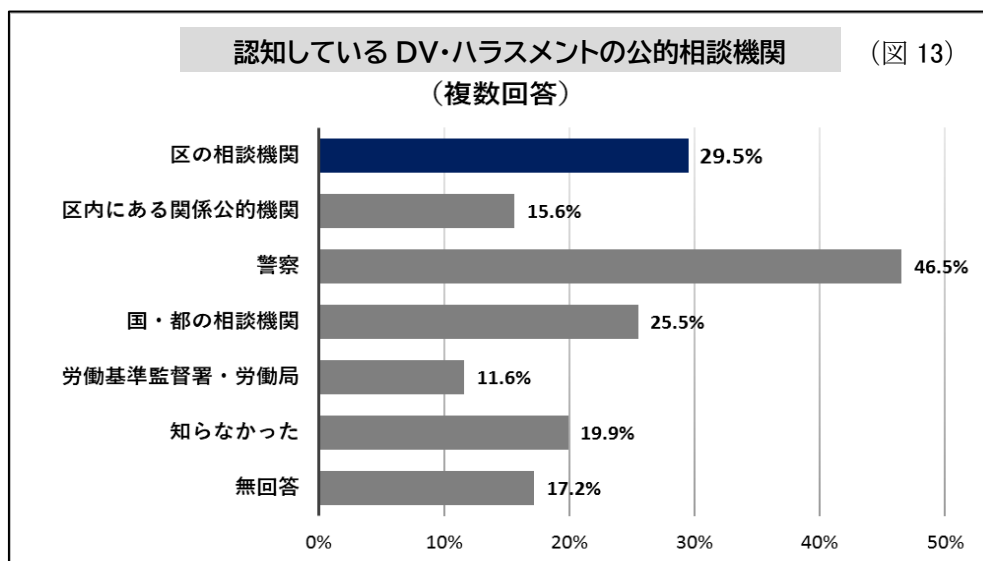
ウ 相談できなかった理由

「相談しても無駄だと思った」「我慢すれば何とかかなと思った」が7割台半ば（75.3%）となっている（図12）。



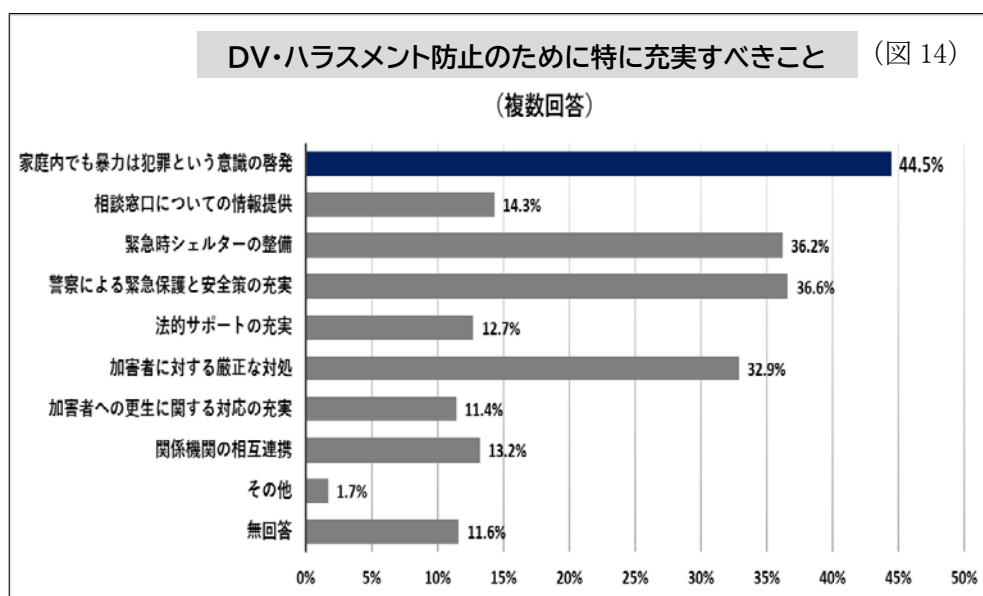
エ 相談機関の認知度

区の相談機関の認知度が、警察に次いで約3割（29.5%）（図13）であるにも関わらず、相談につながっていないことがわかった。



オ DV・ハラスメント防止のために充実すべきこと

ハラスメント・DV防止としては「意識啓発」を充実すべきと回答した人の割合が最も高い（図14）。



(図10)～(図14)の状況をふまえると、DV被害者が1人で悩みを抱えていることが想定される。区民が「意識啓発」を重視していることから、いかにして区の相談へつなげるかが課題となっている。

(5) 多様性の尊重と人権

ア 「LGBT」という言葉の認知度

「知っている」回答者は70.6%と7割を占め、「聞いたことはあるが詳しい内容まではわからない」(15.0%)は1割台半ば、「知らない」(8.8%)という回答者は1割弱である。

イ LGBT等当事者が暮らしやすい社会について

必要なこととして「周囲の人の理解や偏見差別の解消」「社会制度の見直しや差別の解消」が男女ともに第1位となった(図15)。

LGBT等当事者が暮らしやすい社会づくりのために
特に必要だと思うこと(複数回答) (図15)

男性 上位5項目		女性 上位5項目	
周囲の人の理解や偏見・差別の解消	60.6	周囲の人の理解や偏見・差別の解消	71.5
社会制度の見直しや差別の解消(同性婚の法的整備、進学・就職・医療・住居・社会保障等の平等)	54.6	社会制度の見直しや差別の解消(同性婚の法的整備、進学・就職・医療・住居・社会保障等の平等)	61.6
教育現場での普及・啓発	32.3	企業や学校現場、公共施設でのトイレや更衣室等の配慮や取組み	38.8
企業や学校現場、公共施設でのトイレや更衣室等の配慮や取組み	30.9	教育現場での普及・啓発	38.4
専門の相談機関	21.9	専門の相談機関	16.2

ウ いじめを受けたり見聞きした経験について

性的マイノリティ等を理由にいじめを受けたり、見聞きした経験が「ある」と回答した方に、その現場を尋ねたところ、ほぼすべての年代で1位となったのが「学校」であった(図16)。教育現場での啓発が重要である。

いじめを受けたり、見聞きした場面(複数回答) (図16)

男性 30代以下 上位5項目		女性 30代以下 上位5項目	
学校(小学校・中学・高校・大学)	80.0	学校(小学校・中学・高校・大学)	90.6
勤務先	33.3	勤務先	25.0
家庭	6.7	地域	15.6
地域	6.7	家庭	6.3
公共・民間サービス	6.7	公共・民間サービス	6.3

	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">男性 40～50代 上位5項目</th> <th colspan="2">女性 40～50代 上位5項目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学校（小学校・中学・高校・大学）</td> <td>54.5</td> <td>学校（小学校・中学・高校・大学）</td> <td>68.8</td> </tr> <tr> <td>地域</td> <td>27.3</td> <td>勤務先</td> <td>34.4</td> </tr> <tr> <td>勤務先</td> <td>13.6</td> <td>地域</td> <td>21.9</td> </tr> <tr> <td>公共・民間サービス</td> <td>4.5</td> <td>家庭</td> <td>3.1</td> </tr> <tr> <td>家庭</td> <td>0.0</td> <td>公共・民間サービス</td> <td>3.1</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">男性 60代以上 上位5項目</th> <th colspan="2">女性 60代以上 上位5項目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>勤務先</td> <td>45.5</td> <td>学校（小学校・中学・高校・大学）</td> <td>42.9</td> </tr> <tr> <td>学校（小学校・中学・高校・大学）</td> <td>36.4</td> <td>地域</td> <td>28.6</td> </tr> <tr> <td>公共・民間サービス</td> <td>18.2</td> <td>勤務先</td> <td>14.3</td> </tr> <tr> <td>家庭</td> <td>9.1</td> <td>家庭</td> <td>0.0</td> </tr> <tr> <td>地域</td> <td>0.0</td> <td>公共・民間サービス</td> <td>0.0</td> </tr> </tbody> </table>	男性 40～50代 上位5項目		女性 40～50代 上位5項目		学校（小学校・中学・高校・大学）	54.5	学校（小学校・中学・高校・大学）	68.8	地域	27.3	勤務先	34.4	勤務先	13.6	地域	21.9	公共・民間サービス	4.5	家庭	3.1	家庭	0.0	公共・民間サービス	3.1	男性 60代以上 上位5項目		女性 60代以上 上位5項目		勤務先	45.5	学校（小学校・中学・高校・大学）	42.9	学校（小学校・中学・高校・大学）	36.4	地域	28.6	公共・民間サービス	18.2	勤務先	14.3	家庭	9.1	家庭	0.0	地域	0.0	公共・民間サービス	0.0
男性 40～50代 上位5項目		女性 40～50代 上位5項目																																															
学校（小学校・中学・高校・大学）	54.5	学校（小学校・中学・高校・大学）	68.8																																														
地域	27.3	勤務先	34.4																																														
勤務先	13.6	地域	21.9																																														
公共・民間サービス	4.5	家庭	3.1																																														
家庭	0.0	公共・民間サービス	3.1																																														
男性 60代以上 上位5項目		女性 60代以上 上位5項目																																															
勤務先	45.5	学校（小学校・中学・高校・大学）	42.9																																														
学校（小学校・中学・高校・大学）	36.4	地域	28.6																																														
公共・民間サービス	18.2	勤務先	14.3																																														
家庭	9.1	家庭	0.0																																														
地域	0.0	公共・民間サービス	0.0																																														
問題点 今後の方針	調査結果から見えてきた傾向や課題は、令和4年度の男女共同参画推進委員会の検討材料とし、次期計画改定に反映させていく。																																																

令和4年6月27日

件 名	足立区展2022について																		
所管部課名	地域のちから推進部生涯学習支援室地域文化課																		
内 容	<p>「足立区展2022」の概要を報告する。</p> <p>1 実施期間</p> <p>(1) 出品申込日</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 前期（絵画、彫刻、図工・美術）6月19日（日） ・ 後期（書道、写真）6月26日（日） <p>(2) 展示期間</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 前期 令和4年6月21日（火）から6月26日（日）まで ・ 後期 令和4年6月28日（火）から7月3日（日）まで <p>2 会場</p> <p>シアター1010ギャラリー（北千住マルイ11階）</p> <p>3 入賞</p> <p>区展大賞（一般部門のみ）、区長賞、審査員特別賞（図工・美術部門のみ）、議長賞、教育委員会賞、教育委員会特別賞（図工・美術部門のみ）各部門賞</p> <p>4 審査員</p> <p>全部門で外部審査員を導入</p> <table border="1" data-bbox="418 1431 1372 1646"> <thead> <tr> <th></th> <th>絵画</th> <th>彫刻</th> <th>図工・美術</th> <th>書道</th> <th>写真</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>外部審査員</td> <td>2人</td> <td>2人</td> <td>1人</td> <td>5人</td> <td>3人</td> </tr> <tr> <td>実行委員会</td> <td>1人</td> <td>2人</td> <td>7人(区小研)</td> <td>5人</td> <td>3人</td> </tr> </tbody> </table> <p>5 表彰式</p> <p>(1) 日時</p> <p>令和4年7月24日（日）午前11時から（1時間程度）</p> <p>(2) 会場</p> <p>竹の塚地域学習センター 4階ホール</p> <p>6 入賞作品のウェブ展示</p> <p>8月から区ホームページにて入賞作品を公開予定</p>		絵画	彫刻	図工・美術	書道	写真	外部審査員	2人	2人	1人	5人	3人	実行委員会	1人	2人	7人(区小研)	5人	3人
	絵画	彫刻	図工・美術	書道	写真														
外部審査員	2人	2人	1人	5人	3人														
実行委員会	1人	2人	7人(区小研)	5人	3人														
今後の方針																			

区 民 委 員 会 情 報 連 絡

令和4年6月27日

件 名	芸術鑑賞体験事業の実施について
所管部課名	地域のちから推進部生涯学習支援室地域文化課
内 容	<p>新型コロナウイルス感染症拡大により文化芸術の体験機会が減少している小学生の豊かな心を育むため、全ての区立小学5年生を対象として芸術鑑賞事業を実施するにあたり概要を報告する。</p> <p>1 内容</p> <p>(1) 劇団四季ミュージカルの鑑賞</p> <p>(2) 演目 「ライオンキング」(有明会場) 「美女と野獣」(舞浜会場)</p> <p>(3) 公演開始時間：午後1時30分 (約2時間30分、休憩あり)</p> <p>2 公演日程</p> <p>(1) ライオンキング</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1月19日(木) 14校 ・ 2月 2日(木) 10校 ・ 2月 3日(金) 14校 ・ 2月17日(金) 13校 <p>(2) 美女と野獣</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1月27日(金) 17校 <p>3 移動方法</p> <p>バス借り上げによる移動(学校からの移動時間約40分)</p>
今後の方針	

区 民 委 員 会 情 報 連 絡

令和4年6月27日

件 名	協働グループ展「足立の学童疎開展」の開催について
所管部課名	地域のちから推進部生涯学習支援室地域文化課
内 容	<p>7月20日から開催する協働グループ展「足立の学童疎開展」の概要を報告する。</p> <p>1 概要 「足立の学童疎開を語る会」との協働グループ展として、足立の学童疎開の実態及び当時の実体験を紹介する。</p> <p>2 実施期間 令和4年7月20日（水）から8月28日（日）まで</p> <p>3 会場 郷土博物館</p> <p>4 展示構成 (1) 学童疎開とは 学童疎開の概要、戦時下の状況、疎開先等 (2) 疎開先での暮らし 疎開先での一日、食事、手紙、写真等 (3) 平和を祈って 学童疎開展のあゆみ、学童疎開体験者からのメッセージボード等</p> <p>5 足立の学童疎開を語る会について 実際に学童疎開を体験した当時小学校3年生から6年生だった方々が結成した会。</p>
今後の方針	

令和4年6月27日

件 名	「スペシャルライフコートフェスティバル」の実施結果について
所管部課名	地域のちから推進部生涯学習支援室スポーツ振興課
内 容	<p>4月29日に実施した「スペシャルライフコートフェスティバル」の実施結果を報告する。</p> <p>1 実施日時 令和4年4月29日（金・祝） 午前10時～午後3時30分</p> <p>2 会場 総合スポーツセンタースペシャルライフコート及び周辺</p> <p>3 主催・協力 足立区・東京ヴェルディ株式会社</p> <p>4 参加人数</p> <p>(1) 受付人数（受付せず、観覧のみの方を含まず）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 総人数 622人 ・ うち障がいのある方 111人 <p>(2) イベント参加・体験者延べ人数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 総延べ人数 1,283人 (内訳) ステージ 482人 サッカー（午後） 127人 ライフル 194人 クライフコート 237人 ユニバーサル野球 243人 <p>5 当日の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 午後は雨天であったが、東京ヴェルディのネームバリューもあり、多くの参加者が様々なスポーツ体験を楽しんだ。 ・ 「障がいのある方も楽しめるスポーツイベント」と対象者を明確にしたチラシや広報の効果があったと思われ、様々な障がいのある方の参加がみられた。 ・ 6月からの障がい者運動教室の申込につながった。 ・ 午後1時以降、降雨のため一部のイベントを室内に移動した。大型テントの設置も効果的であった。
今後の方針	本イベントの課題等を東京ヴェルディとも共有し、今後の事業にいかしていく。

区 民 委 員 会 情 報 連 絡

令和4年6月27日

件 名	「調べ学習用図書」の配送実績について
所管部課名	地域のちから推進部生涯学習支援室中央図書館
内 容	<p>区立小・中学校に配送している「調べ学習用図書」について、令和3年度の配送実績を報告する。</p> <p>1 配送回数・貸出冊数</p> <p>(1) 小学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 69校のうち32校に配送。 ・ 延べ174回、6,617冊の貸出しを実施した。 <p>※ 令和2年度と比較して4校、延べ65回、1,783冊の増</p> <p>(2) 中学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 35校のうち4校に配送。 ・ 延べ17回、585冊の貸出しを実施した。 <p>※ 令和2年度と比較して4校、延べ回数同数、206冊の減</p> <p>2 令和2年度との比較</p> <p>(1) 校長会での説明など学校へのPRを強化した結果、全体の利用回数が増えた。</p> <p>(2) 生き物、調べる学習コンクール、オリンピック、パラリンピック、SDGsに関するテーマでの貸出が多かった。</p>
今後の方針	<p>夏休みに合わせて区内小・中学生に向けて「調べ学習用図書」セットを区立図書館で貸出をしていくとともに、ニーズを把握しながら利用を促進していく。</p>

区 民 委 員 会 情 報 連 絡

令和4年6月27日

件 名	「あだち読書通帳」の配布実績について
所管部課名	地域のちから推進部生涯学習支援室中央図書館
内 容	<p>子どもの読書習慣定着のために「あだち読書通帳」を区立図書館等で配布している。次のとおり、令和3年度の配布実績を報告する。</p> <p>1 配布場所 (1) 区立図書館 (2) 保健センター、子育てサロン、児童館 (3) 区立小・中学校 (4) アウトリーチ、講演会等で配布</p> <p>2 配布実績 別紙1のとおり</p> <p>3 小学生用の配布冊数増について 校長会でPRを行った結果、令和2年度よりも配布冊数が大幅に増加した。</p>
今後の方針	<p>1 読書週間や夏休み期間に読書通帳を使ったイベントを行い、読書習慣の定着につなげていく。</p> <p>2 親子用の配布冊数を増やすために、園長会など乳幼児に関わる機関と連携し、PRしていく。</p> <p>3 小学生用については、引き続き校長会でPRをしていく。</p>

「あだち読書通帳」の令和3年度配布実績

1 あだち読書通帳（親子用）

配布方法	令和元年度	令和2年度 ①	令和3年度 ②	増減 ①－②
区立図書館（イベント、1歳6か月児）で配布	1,177 冊	2,079 冊	2,763 冊	684 冊
保健センター（3～4か月児健診）で配布（※1）	4,600 冊	3,765 冊	3,304 冊	△461 冊
子育てサロン、児童館（1歳6か月児）で絵本引換時に配布（※2）	2,453 冊	2,319 冊	1,932 冊	△387 冊
アウトリーチ、講演会等で配布	86 冊	518 冊	339 冊	△179 冊
合計	8,316 冊	8,681 冊	8,338 冊	△343 冊

- ※1 昨年度に比べて、配布数は減少しているものの、健診受診者3,311人の99%に配布。
 ※2 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和4年1月21日から3月21日まで臨時休館しており、配布実績なし。

2 あだち読書通帳

配布方法	令和元年度	令和2年度 ①	令和3年度 ②	増減 ①－②	
区立図書館で配布	4,769 冊	2,805 冊	6,106 冊	3,301 冊	
区立学校	小学校	15,401 冊(34校)	5,400 冊(10校)	19,986 冊(42校)	14,586 冊
	中学校 (※1)	550 冊(2校)	350 冊(3校)	0 冊(0校)	△350 冊
	小計	15,951 冊(36校)	5,750 冊(13校)	19,986 冊(42校)	14,236 冊
アウトリーチ、講演会等で配布	71 冊	36 冊	0 冊	△36 冊	
合計	20,791 冊	8,591 冊	26,092 冊	17,501 冊	

- ※1 中学校については、要望があった学校にのみ個別に配布。